

【主題名】 謙虚な心で相手の立場や意見を尊重すること「B－(11) 相互理解, 寛容」

【教材名】 ブランコ乗りとピエロ (文部科学省 私たちの道徳 五・六年)

〈あらすじ〉 サーカス団をまとめるリーダーのピエロと花形スターのサムは、一時間という制限で大王にサーカスの演技を見てもらうことになった。日頃から、ピエロはわがままな言動のサムに腹を立てていた。当日、サムの演技が延長し、ピエロは大王の前で演技ができなかった。しかし、ピエロは演技後に疲れ切った様子 of サムを何度も思い出しながら、自分にも足りないところがあったことや、サムから学ぶべきところがあったことに気づき、考えを変えていくのである。

【ねらい】

☑ 内容項目の理解

謙虚な心で、相手の意見や立場を尊重しようとする道徳的価値について指導する。

☑ 児童生徒の実態把握

授業では、友達がどんな気持ちで話しているのかを聞く姿勢がある。しかし、話し合う場面では、自分の考えを主張し、相手の考えを受け入れず、また一方的に相手の意見を否定してしまう児童が見られる。

☑ 本時のねらいを設定する

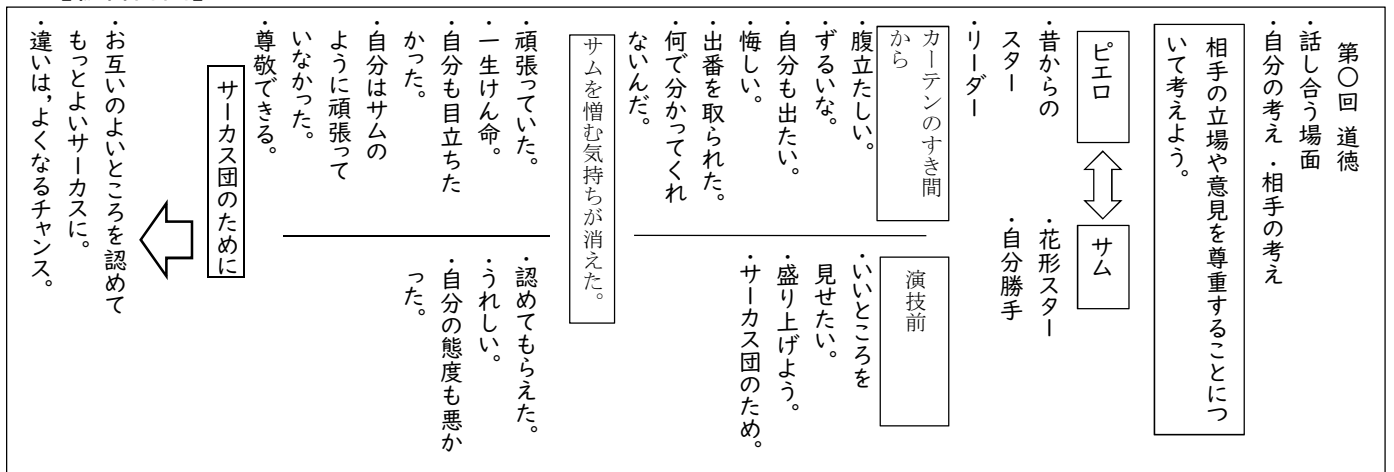
判断力 心情 実践意欲 態度

謙虚な心で、相手の意見や立場を尊重しようとする道徳的態度を育てる。

【学習指導過程】

段階	学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。</p> <p>○ これまで、話し合う場面で、友達と意見や考えが違って困ったことはありませんか。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <p>相手の立場や意見を尊重することについて考えよう。</p>	<p>問題解決的な学習</p>
展開	<p>3 相手の立場や意見を尊重することについて、自己を見つめ、多面的・多角的に考える。</p> <p>○ カーテンの隙間からサムを見つめるピエロは、どのような気持ちだったでしょう。</p> <p>○ 演技前のサムは、どのような気持ちだったでしょう。</p> <p>◎ どうして、サムを憎む気持ちがピエロの心から消えたのでしょうか。</p> <p>○ 話し合った二人は、どのようなことを思っているのでしょうか。</p>	<p>自分との関わり</p> <p>多面的・多角的</p>
終末	<p>4 自己の生き方について考える。</p> <p>○ 相手の立場や意見を尊重することについて、分かったこと、友達の考えを聞いていいなと思ったこと、これからの生活に生かしていきたいことについて書きましよう。</p>	<p>終末の工夫</p>

【板書計画】



【評価】

謙虚な心で、相手の立場や意見を尊重することについて、多面的・多角的に考える学習を通して、これからの生き方に生かそうとしていたか。